

安全推進室だよ！ Vol10

トップダウンだけではコミュニケーションは生まれない
～取組事例の紹介（鉄道編）～

鉄道モードでは、他モードより事故が少ないので、安全に対する取組の結果が見えにくい面もあり、取組のマンネリ化、モチベーションをいかに維持するかが一つの課題となっています。職種が多岐に亘るので、全体的な取組が実施しにくい面もありますが、小集団活動などは積極的に行われています。また、「やらされ感」によるモチベーションの低下を防ぐために、これらの取組を勤務時間とみなしている事業者も増えています。

【モチベーションの向上を狙う社内DVDの作成】

現業職員自らが企画・実施したDVDを作成することにより、列車の安全運行に自分たちがどのように関わっているか、自分たちの仕事他部門の人の目にはどのように映っているかを、改めて認識するとともに、自らの仕事を見つめ直すことにより、安全意識の向上を図っています。また、自分たちの業務と平行して、他職種の人がどのような業務を行っているか理解を深めることにより、相手の立場に立った行動に結びつくことを期待しています。上司の思いやり、お客様からの感謝の言葉なども紹介しています。

【地域を巻き込んだ安全啓発活動】

利用者に対する安全啓発活動もともなう、「駆け込み乗車」や「車内でのマナー」等のポスターを社員から募り、表彰するとともに社内、駅等に掲示する取組を実施しました、今は地域の方からも参加をしてもらい、活動が地域に広がりました。

【エリアミーティング】

安全統括管理者、関係各部長、現業部門の安全担当者が参加し、全運行区間を三つのエリアに分けてエリアごとに、「エリアミーティング」を開催し情報交換を行っています。

こうした部門間のコミュニケーションが、次のようなエリア・部門を越えた自発的な取り組みにつながってきています。

●複数の駅と電気部との間で、信号機器を扱う側（信号扱者）の機器に関する疑問を、メンテナンスする側（電気部）が答えていくというスタイルの研究会を開催し、信号扱者の知識向上と相互理解を促進

●複数の駅と車両部門との間で、合同車両入換合図訓練を行い、万一、出入庫用の信号機にトラブルが発生しても、迅速に対応できるよう準備

●運転部門と保線部門との間で、保線管理業務の際に運転席からの見通しの範囲、逆に保線作業時に運転部門に対する意見等の交換などを通じ、情報伝達、コミュニケーションを促進

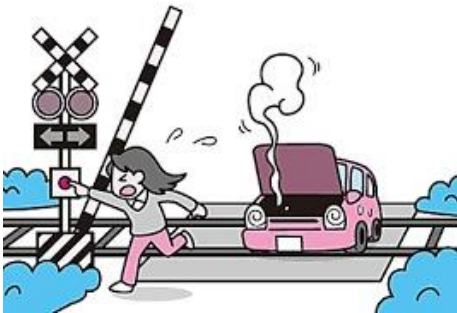


【委託事業者との現業連絡会】

- ① 駅業務の一部、② 鉄道車両の保守業務の一部、③ 線路施設・電気施設の保守業務をそれぞれ別会社に委託している。そこで、これら会社間において、輸送の安全確保や異常時の対応等の連携を強化することを目的とし、職種横断的に連携・協力体制の構築を図るため、現業職員が自発的に活動を行う組織として、地域エリア毎に「現業連絡会」を設立、安全統括管理者、現業部門の安全担当者等も参加し、情報交換を行っています。

【他社・他モードの事故等の事例の活用】

外部機関等から情報収集し、情報を自社の設備及び取扱いに置き換えて分析を行い、理解しやすくすることを念頭に資料を作成し社内に周知しています。



【グループ企業間でのコミュニケーション】

グループ企業間でも、グループ交通事業者安全統括管理者会議を開始し、グループ内での情報交換や安全マネジメントに係る合同勉強会を実施。これを契機として、グループのタクシー会社と「踏切保安装置の仕組みや万一車両が踏切内に閉じ込められた時の対応」等についての説明会が実施されるなど、グループ企業ならではの合同の取組にもつながってきています。

【指差喚呼の再確認】

日頃から行っている指差喚呼についてじっくりと考えてみました。「やってるか」だけの声かけではなく、一連の確認動作で注意を払うべき対象に対して実施していることの意義、指差喚呼の行為要素として、①視界が向きやすくなる ②行動が慎重になる ③記憶が強化される ④エラーに気づきやすくなる ⑤覚醒が保持される 等の効果があるからやっていることを再認識し、その他、新たにどういう場面で実施すべきかなど、動作の意味を深く考えてもらうことで、日常業務の中で、安全に対する問題意識を持ってもらうことをねらいとしました。



【再任用者を活用】

定年により退職される方は業務に対する知識が豊富であり、若手への技術の伝承も含め「安全安心マイスター」として再任用という形で来てもらっています。

沿線の学校などへの訪問、講演を通じた利用者マナーの啓発、また現職職員にもお話をいただいています。

【褒める文化】

業務委託先を含めた現業職員で、「社員同士で褒め合い、社内に褒める文化の構築を図るとともに、コミュニケーションの活性化を図ることを目的とした表彰制度」を導入し、「モチベーションUP表彰」を実施した。

「ちょっと、うれし恥ずかしかったです」

次回は船舶編！